

目次

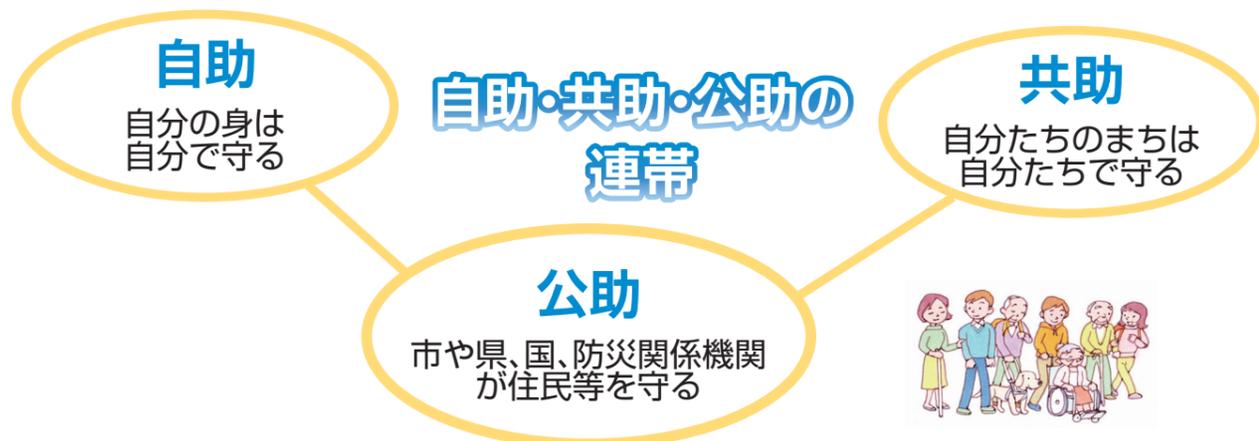
目次/自助・共助・公助について	
田辺市洪水ハザードマップについて	1
左会津川・芳養川索引図	2～3
左会津川浸水想定区域図	4～19
熊野川・大塔川索引図	20～21
熊野川浸水想定区域図	22～33
大塔川(浸水実績図)	34～35
芳養川(浸水実績図)	36～39
決壊のおこり方と被害	40
気象庁からの気象情報(注意報・警報)/避難勧告等の避難情報について	41
雨の強さと降り方、災害発生の目安/大雨の際の危険箇所 風水害から身を守るには(日頃の備え)	42
洪水発生時における避難の心得	43
災害情報の入手/洪水に備えた事前の心構え	44
非常持出品/備蓄品/実践してみようローリングストック法	45
我が家の防災メモ/災害用伝言ダイヤルの利用方法	46

自助・共助・公助について

災害に強いまちを作るために

自助・共助・公助

防災・減災のキーワードとして、「自助」「共助」「公助」という言葉がよく使われます。自助とは「自分の身は自分で守る」こと、共助とは「家族・近所でお互いに助け合い地域を守る」ことを指します。また公助とは「公的機関からの救済や支援」を指しています。災害の発生を完全に予見し防ぐことはできませんが、自助、共助、公助が連携し、効果的に機能することで、被害を減らすことが可能となります。



災害によって孤立した場合に、被害の軽減につながる最も重要な行動は「共助」であるといわれています。そのためにも、普段から住民同士の顔の見える関係づくりが何よりも大切です。

田辺市洪水ハザードマップについて

田辺市洪水ハザードマップ

田辺市洪水ハザードマップは、洪水による河川氾濫時における被害を最小限度に食い止めることを目的とし、予想される浸水の程度や避難施設等の各種情報をマップに表示して、緊急時の避難に役立てるものです。

左会津川流域浸水想定区域図

この浸水想定区域図は、左会津川水系左会津川の水位周知区間について、水防法の規定により想定最大規模降雨による浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。指定時点の左会津川等の河道整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により左会津川等が氾濫した場合の浸水状況をシミュレーションにより予測したものです。

このシミュレーションにあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水(河川に排水されずに氾濫した水)による氾濫を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

熊野川流域浸水想定区域図

この浸水想定区域図は、新宮川水系熊野川の洪水予報区間について、水防法の規定により指定された浸水想定区域と、当該区域が浸水した場合に想定される水深その他を示したものです。指定時点の熊野川の河道の整備状況を勘案して洪水防御に関する計画の基本となる降雨により、熊野川が氾濫した場合に想定される浸水状況をシミュレーションにより求めたものです。

なお、設定した雨量に満たない降雨でも、降り方により同規模以上の浸水が発生したり、設定雨量を超える降雨があった場合は、浸水区域、浸水深が大きくなるなど、異なる場合があります。

このシミュレーションにあたっては、支川及び派川の氾濫、高潮及び内水(河川に排水されずに氾濫した水)による氾濫を考慮していません。また、微地形による影響が表せていない場合があり、着色していない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

なお、三重県側の浸水想定区域は考慮しておりません。

芳養川・大塔川浸水実績図

この実績図は過去の豪雨により、河川が増水・氾濫した時の浸水範囲を、聞き取り調査や過去の浸水写真をもとに浸水位を算出し、周囲の地形や地盤高を考慮して求めたものです。

なお、この図に示した浸水範囲以外にも浸水している場合がありますので、ご注意ください。